

第1章 調査事業の概要

1. 1 業務の目的

本業務は、平成19年度地方再生モデルプロジェクトにおいて採択された「諫早湾干拓地における農業と環境、観光の融合プロジェクト」の一環として、諫早湾干拓地域の農業、環境、観光に係る地域資源やその活用可能性を調査・分析し、循環型次世代農業実証計画の樹立や体験型観光メニューを具体化するための基盤整備事項を整理することにより、長崎県が今後実施を予定している、諫早湾干拓地における太陽光発電や電動農業機械等を活用した循環型次世代農業の実証実験、及び当該実験場や環境体験学習施設、干拓事業の歴史等を地域資源として活用した観光振興を行うことにより、農業と環境、観光が融合した地域活性化を図る取り組みの推進に資することを目的として実施しました。

1. 2 実施方針

業務の実施に当たっては、諫早湾干拓農業・環境・観光融合プロジェクト検討協議会構成員の高い知見や技術、情報を有効に活用するとともに、協議会外の企業や関係市、観光団体の支援を得ながら以下の事業内容に特に留意して調査を進めました。

- (1) 環境と観光の一体スキームの構築検討と生じうる波及効果の仮説設計
- (2) 循環型次世代農業の検討
- (3) 干拓地の特徴を活かした観光に係る検討
- (4) 波及効果の測定と基盤整備項目の検証・整理、PR

1. 3 業務フロー

実施項目を協議会メンバーで分担実施し、定期的に全体連絡会議を開催すると共に外部有識者による評議員会や農業や観光に関する権威者を招聘した講演会の実施、及び先行事例の出張実態調査、を行いました。以下に具体例を述べます。

尚、評議員と講演者の得意分野などに関しては表 1.3.1 に示します。

1) 全体連絡会議

以下に示す 5 回行いました。

- ・ 1 月 3 0 日 # 1 キックオフ全体会議
- ・ 2 月 2 2 日 # 2 全体連絡会議
- ・ 2 月 2 8 日 諫干現地での電動草刈機の課題前倒し調査試験
- ・ 3 月 6 日 # 3 全体連絡会議
- ・ 3 月 1 9 日 # 4 全体連絡会議

2) 評議員会

以下に示す 3 回行いました。

- ・ 3 月 6 日 北海道農業技術センター 石田 茂樹氏
・・・ # 3 全体連絡会議に参加、アドバイス受け
- ・ 3 月 1 8 日 大和リゾート前社長 本多 敬一氏
・・・ 諫干現地視察、アドバイス受け
- ・ 3 月 1 9 日 長崎県立大学 木村教授
・・・ 次世代農業の事業性、アドバイス受け

3) 講演会

以下に示す 3 回行いました。

- ・ 3 月 3 日 広島工業大学 上嶋 英機教授
・・・ 農業廃水の循環使用の留意点に関して
- ・ 3 月 6 日 北海道農業技術センター 石田 茂樹氏
・・・ 北海道における大規模機械化農業の実態と課題について
- ・ 3 月 1 4 日 ファースト ESCO 末吉 弘明氏
・・・ 農畜産系バイオマスの燃料再資源化事例紹介

4) 先行事例調査

以下に示す4回行いました。

- 2月16日 EV安全協会及びEV研究所（大阪）
→EV事例調査

- 2月27日 日本文理大学（大分）
→エコ・ステーション事例調査

- 3月4日 JFT鋼板（倉敷）
→エコ・ステーション事例調査

- 3月4日 北海道農業研究センター（北海道）
→大規模機械化農業の事例調査

表1.3.1 講演会と評議員会の開催実績

<講演会開催実績>

講演者 氏名	所属・役職	得意分野と講演内容	開催日 時、場所
上嶋 英機	広島工業大学環境デザイン学科 教授	環境全般に知見豊か、特に水質浄化は国内トップレベル。農業廃水の循環使用で講演実施。	3/3(9:30~11@出島)
石田 茂樹	(独)北海道農業研究センター 北海道畑輪作研究チーム チーム長	大規模機械化体系及び農業機械開発の第一人者。北海道の先進農業に関して講演実施。	3/6(10~12@出島)
末吉 弘明	(株)ファーストESCO シニアエンジニア	バイオマス関連 ESCO 事業のスペシャリスト。バイオマス事業の事例に関して講演実施。	3/14(13~16@出島)

<評議員会開催実績>

候補者 氏名	所属・役職	得意分野と評議内容	開催日 時、場所
木村 務	長崎県立大学 副学長	農業経済学、ビジネス化支援センターの農工チームリーダー。調査事業全般に亘るアドバイスを受け。	3/19(10~12@大村)
石田 茂樹	(独)北海道農業研究センター 北海道畑輪作研究チーム チーム長	大規模機械化体系及び農業機械開発の第一人者。次世代農業(特に電動農耕機)に関するアドバイスを受け。	3/6(13~17@ターミナルH)
本多 敬一	大和リゾート(株) 前社長	既存の観光地を利用したリゾート開発や商品企画の策定推進、経営管理。観光事業者の立場からアドバイスを受け。	3/18 諫干視察後にアドバイス受け。

1. 4 実施体制（図1.4.1参照）

以下の体制で実施しました。

諫早湾干拓農業・環境・観光融合プロジェクト検討協議会三役

会長 金子原二郎（長崎県知事）
副会長 渡辺 敏則（長崎県農林部長）
監 事 坂井 秀之（（株）協和機電専務）

協議会構成員と代表者

長崎総合科学大学：辻 史郎（電気電子工学科 教授）
三菱重工業（株）：石田 信久（太陽電池事業ユニット 開発・設計課長）
協和機電工業（株）：坂井 秀之（専務）
（株）筑水キャニコム：中村 公德（イノベーション開発部長）
（財）長崎県産業振興財団：吉田 博久（技術統括）
（財）ながさき地域政策研究所：前田 俊一（主任研究員）
長崎県農林部/科学技術振興局/産業労働部：中村 功（農政課 課長補佐）

図 1.4.1 実施体制



